

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

奥出雲町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

島根県仁多郡奥出雲町

3 地域再生計画の区域

島根県仁多郡奥出雲町の全域

4 地域再生計画の目標

本町は、島根県の南東部、斐伊川の上流にあり、南部は広島県庄原市、東部は鳥取県日南町に接している。松江市からは約 43km の距離にあり、東西 27.2km、南北 20.9km、総面積 368.01k m²となっている。

本町は出雲国風土記には鉄の生産地として記されるなど、江戸時代から明治の初期まで、わが国有数のたたら製鉄の産地として栄え、出雲地域における一大文化圏を構築してきた。このたたら製鉄によって「仁多米」をはじめとする豊かな農林畜産業が生み出され、これらが有機的に結びついた循環型農業が平成 31 年（2019）に中国地方では初めて「日本農業遺産」に認定され、令和 3 年（2021）には、世界農業遺産の国内候補として認定され、現在認定を目指している。

国立社会保障・人口問題研究所の平成 30（2018）年 3 月推計によると本町の人口は減少を続け、令和 22（2040）年には 7,270 人（対 2015 年比 44.3%減）に、令和 42（2060）年には 3,937 人（対 2015 年比 69.9%減）になると推計されている。

また、年齢 3 区分人口を見ると、平成 27（2015）年の人口と比較し、令和 22 年には年少人口と生産年齢人口は 5 割強減少し、606 人と 2,812 人に、老年人口は 3 割減の 3,852 人に、高齢化率は 53.0%に、令和 42 年にはさらに減少が進み、年少人口と生産年齢人口は 8 割減少し、286 人と 1,351 人に、老年人口は約 6 割減の 2,300 人に、高齢化率は 58.8%になると推計されている。

本町を含む地方部では、若い世代が進学や就職で流出する「社会減」と出生率

の低下という「自然減」が相まって、人口減少と少子高齢化が進行しており、地域全体をどのように維持していくかが大きな課題となっている。

これらの課題に対応するため、地域資源を活かした魅力ある産業を創出するとともに、新技術の導入等により生産性を向上し、地域産業の競争力を強化することで、稼げる地域づくりを推進する。また、多様化する価値観やライフスタイル、働き方に対応した環境づくりをすることで、安心して暮らせる町を構築する。

なお、これらに取り組むにあたって、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標 1 稼ぐ地域をつくり、奥出雲町で安心して働けるようにする
- ・基本目標 2 都市とのつながりを築き、奥出雲町へ新しいひとの流れをつくる
- ・基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	人口一人当たりの町民所得	2,278千円	2,400千円	基本目標 1
イ	UIターン者数（二人世帯以上の転入者数）	69人	98人	基本目標 2
ウ	出生数	50人	60人	基本目標 3
エ	奥出雲町に愛着を感じている町民の割合（町民意識調査）	73.6%	76.8%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

奥出雲町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 稼ぐ地域をつくり、奥出雲町で安心して働けるようにする事業

イ 都市とのつながりを築き、奥出雲町へ新しいひとの流れをつくる事業

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる事業

② 事業の内容

ア 稼ぐ地域をつくり、奥出雲町で安心して働けるようにする事業

農林水産業や観光産業などにおいて、地域資源を生かした産業の創出や活性化、新技術の導入等により生産性を向上し、地域産業の競争力を強化することで、若者にとって魅力ある多様な雇用の場を創出する事業
<具体的な事業>

- ・地域商業活性化支援事業
- ・産業創出事業
- ・たたらブランド推進事業
- ・オロチの深山きこりプロジェクト事業 等

イ 都市とのつながりを築き、奥出雲町へ新しいひとの流れをつくる事業

働き方やライフスタイルにおける若者の希望とのマッチングを図ることでUIターンにつなげ、将来的な移住にもつながるよう、地域活動への参加や寄付・投資など多様な形で地域にかかわる関係人口の創出・拡大につなげる事業

また、地域の未来を支える人材を支える育成するために、学校教育を通じて子どもが地域と深く関われる学びの体制をつくり、地域への愛着やシビックプライドの醸成を図る事業

<具体的な事業>

- ・定住推進事業

- ・関係人口創出プロジェクト事業
- ・就農パッケージづくり事業
- ・農家民泊等支援事業
- ・情報発信事業
- ・横田高校魅力化事業
- ・教育用 ICT 機器整備事業 等

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

結婚・出産・子育ての希望に応えるために、出会いから結婚・出産を支援し、地域での子育てサポート体制、仕事と子育てを両立できる働き方を推進し、地域や企業などの社会全体で、男女ともに結婚、子育て、仕事をしやすい環境づくりを推進する事業

<具体的な事業>

- ・縁結び活動支援事業
- ・結婚・子育てコンシェルジュ事業
- ・地域子育て支援センター事業
- ・放課後児童健全育成事業
- ・ファミリーサポート事業
- ・妊産婦健康診査交通費助成事業
- ・不妊治療費助成事業
- ・子育て世代包括支援センター事業 等

エ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる事業

医療・福祉、生活交通などの生活に必要な機能を確保し、安心して暮らし続けることができる地域づくりの推進や、豊かな自然、文化・スポーツなどの地域資源を最大限に活かし、住環境をはじめとした暮らしやすい環境を整える事業

<具体的な事業>

- ・きらり輝く地域づくり事業

- ・ 小さな拠点づくり事業
- ・ 空き家バンク促進事業
- ・ 住宅整備支援事業
- ・ 木次線利活用推進事業
- ・ 訪問診療支援事業
- ・ 地域包括ケア推進事業
- ・ 高齢者生活・交通サポート事業
- ・ 高齢者等安心安全生活サポート事業
- ・ 外出支援サービス事業 等

※なお、詳細は奥出雲町まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

90,000千円（2022年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度10月を目途に外部有識者等による効果検証を行い、改善点等を検討し、翌年度の取組方針を決定する。また、検証結果は、検証後速やかに奥出雲町公式ホームページにおいて公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで